



この写真は大気社の海外拠点があるインドの世界遺産、ラジャスタンの丘陵城塞群のひとつクンバルガル城です。



株式会社 大気社

2021年3月期(2020年度)

第2四半期決算説明会資料

2020年11月17日

本日の説明内容

I. ご挨拶

代表取締役社長執行役員

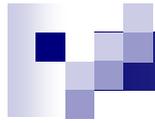
加藤 考二

- ## II. ・2021年3月期 第2四半期決算説明 ・中期経営計画の各戦略における取組み

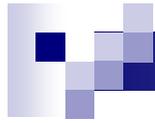
取締役常務執行役員 管理本部長

中川 正徳

III. 質疑応答



1. 上期の市場環境と業績
2. 通期業績予想



1. 上期の市場環境と業績

1 上期の市場環境と業績

上期の市場環境

国内市場

ビル空調分野においては、第1四半期会計期間における緊急事態宣言などによる影響により投資を先送りする動きが見られた。

また、産業空調分野においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりにより、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続いた。

海外市場

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりにより、産業空調分野、自動車塗装分野ともに、各メーカーの設備投資は調整局面が続いた。

1 上期の市場環境と業績

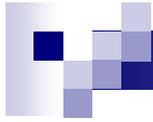
上期の連結業績

単位：億円

	予想	2020.9 実績	差異
受注工事高	900	945	45
完成工事高	805	815	10
経常利益	39	37	-1
(同率)	4.8%	4.6%	-0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	29	30	1
(同率)	3.6%	3.8%	0.2%

今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業績予想の開示を8月11日の第1四半期決算発表のタイミングに行った。

そのため、上期の業績予想に対して、ほぼ想定通りの結果となった。



2. 通期業績予想

2 通期業績予想

通期の連結業績予想

単位：億円

	上期実績	下期予想	通期予想
受注工事高	945	1,074	2,020
完成工事高	815	1,214	2,030
経常利益	37	82	120
(同率)	4.6%	6.8%	5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	49	80
(同率)	3.8%	4.1%	3.9%

【市場環境の見通し】

環境システム事業

- ビル空調分野の建設需要は、リモートワークの普及によりオフィスビル需要の減退感が強まり、短期的には計画延期・縮小の動きがあるが、大型再開発やリニューアル需要、データセンターなど、中長期的には底堅く推移する見通し。
- 産業空調分野は、国内、海外ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、短期的に設備投資は調整局面が継続する見込み。スピード感に懸念はあるが、5G普及やCASEの本格化により、中長期的には国内、海外ともに需要は回復に向かうことが期待される。

塗装システム事業

- 新型コロナウイルス感染再拡大により、依然として先行きは不透明な状況が続いており、設備投資は調整局面が継続する見込み。

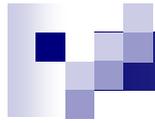


1. 2021年3月期（2020年度） 第2四半期決算説明

- | | |
|------------------------|--------------------|
| ① 2021年3月期第2四半期決算ハイライト | ④ 主な受注工事・完成工事・繰越工事 |
| ② 環境システム事業の業績 | ⑤ 2021年3月期の業績予想 |
| ③ 塗装システム事業の業績 | ⑥ 株主還元 |

2. 中期経営計画（2019年度～21年度）の各戦略における取組み

1. 業績数値等は原則、連結ベースです。個別ベースの場合のみ、各ページのタイトルに（個別）と記載しています。
2. 業績数値等は原則、外部顧客に対する取引金額となっており、セグメント別の営業利益・経常利益についてのみ、内部取引高を含む数値となっております。
3. 業績予想数値は、発表日現在において、入手可能な情報に基づき推計した見込みです。
経済動向、業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度の改正、その他多様なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。



1. 2021年3月期（2020年度） 第2四半期決算説明

1

2021年3月期第2四半期決算ハイライト

1-①.事業別受注工事高 (前年同期比)

単位：億円

	2019.9	2020.9	増減
受注工事高	1,184	945	-239
(うち国内)	(666)	(449)	(△216)
(うち海外)	(518)	(495)	(△22)
環境システム事業	786	594	-191
ビル空調	235	161	-74
産業空調	550	433	-117
(うち国内)	(360)	(238)	(△122)
(うち海外)	(189)	(194)	(5)
塗装システム事業	398	350	-48
(うち国内)	(69)	(49)	(△20)
(うち海外)	(328)	(300)	(△27)

(環境システム事業)

・ビル空調分野は、前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、短期的に投資を先送りする動きがあった。

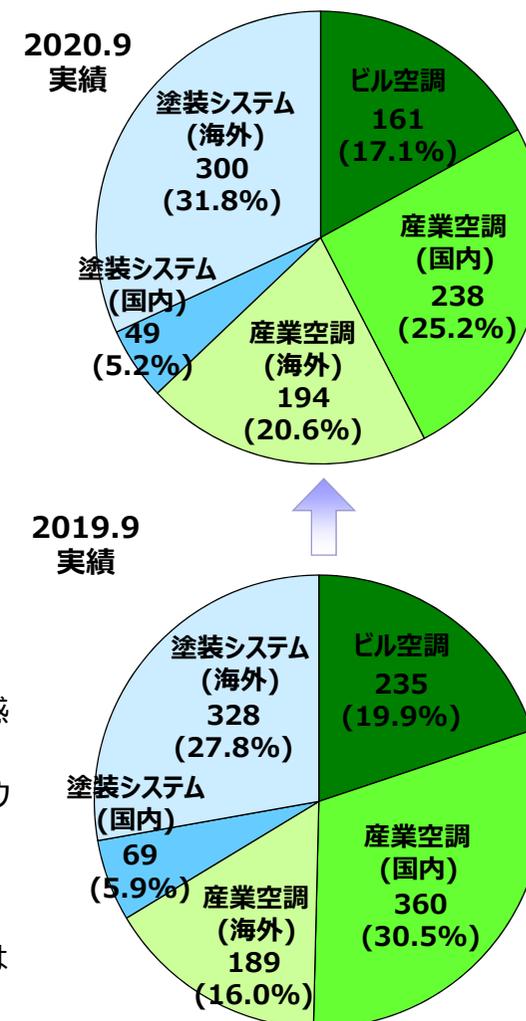
・産業空調分野は、国内は前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資は調整局面が続いた。

一方、海外は同じく景気悪化の影響を受けたが、タイにおいて大型再開発案件の受注が寄与。

(塗装システム事業)

・今期は欧州で非日系顧客からの大型案件の受注があったものの、景気悪化の影響により設備投資は調整局面が続いたことや、前年同期は北米で豊富な受注があったことなどから減少した。

事業別構成



1

2021年3月期第2四半期決算ハイライト

1-②. 事業別受注工事高（予想比）

単位：億円

	予想	2020.9 実績	差異
受注工事高	900	945	45
（うち国内）	（407）	（449）	（42）
（うち海外）	（493）	（495）	（2）
環境システム事業	550	594	44
ビル空調	104	161	57
産業空調	446	433	-12
（うち国内）	（249）	（238）	（△10）
（うち海外）	（197）	（194）	（△2）
塗装システム事業	350	350	0
（うち国内）	（54）	（49）	（△4）
（うち海外）	（296）	（300）	（4）

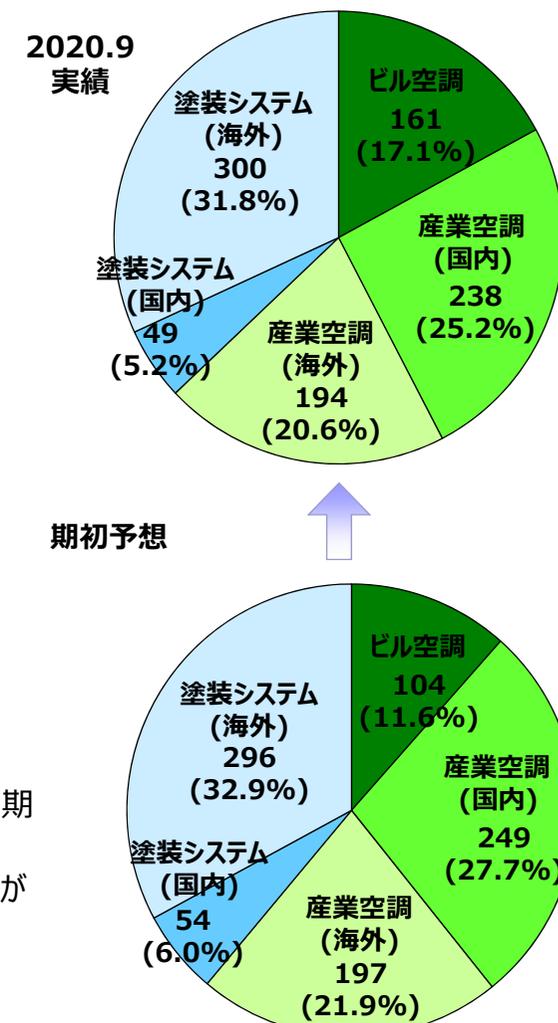
（環境システム事業）

- ・ビル空調分野は、新型コロナウイルス感染拡大による顧客の投資時期先送りの動きを鑑みて下期以降の出件を見込んでいた案件が、上期に前倒しで受注となったことなどにより予想を上回った。
- ・産業空調の国内は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、投資計画が先送りとなったことなどにより、予想を下回った。

（塗装システム事業）

- ・ほぼ予想通りの結果となった。

事業別構成



1

2021年3月期第2四半期決算ハイライト

2-①. 事業別完成工事高（前年同期比）

単位：億円

	2019.9	2020.9	増減
完成工事高	1,049	815	-233
（うち国内）	（642）	（474）	（△168）
（うち海外）	（407）	（341）	（△65）
環境システム事業	761	573	-188
ビル空調	251	175	-75
産業空調	510	397	-112
（うち国内）	（334）	（258）	（△75）
（うち海外）	（176）	（139）	（△36）
塗装システム事業	288	242	-45
（うち国内）	（57）	（40）	（△16）
（うち海外）	（230）	（201）	（△29）

（環境システム事業）

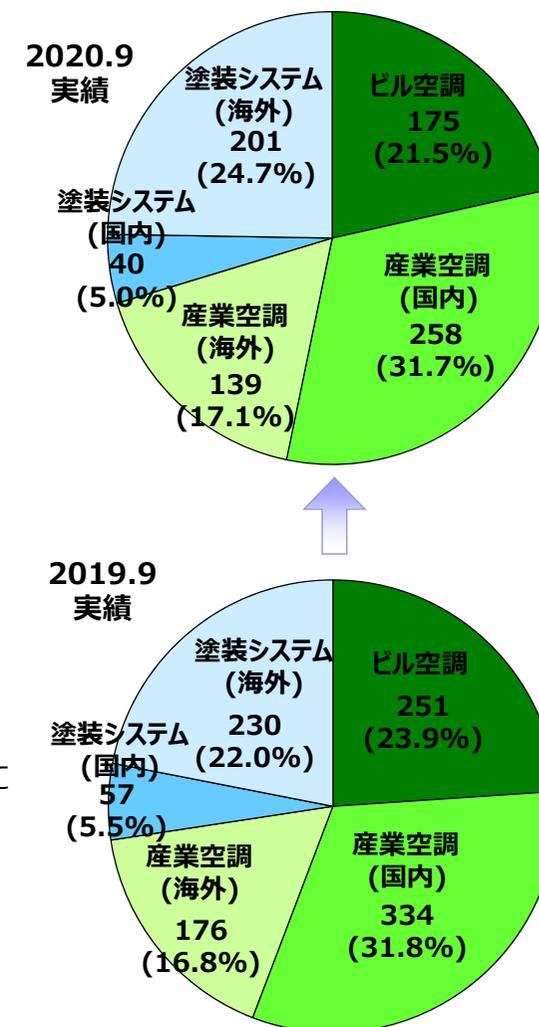
- ・ビル空調分野は、前年同期は大型再開発案件の出来高が伸びたため、反動減となった。
- ・産業空調の国内は、前年同期は複数の大型案件が大きく進捗したため、減少した。
- ・産業空調の海外は繰越工事高は前期期初より多かったものの、工期的に今期上期会計期間の完工に寄与する案件が少なかったことにより減少した。

（塗装システム事業）

- ・繰越工事高が前期期初より少なかったことにより減少した。

両事業とも海外において、ロックダウン中は施工活動が制限されたが影響は軽微であった。

事業別構成



1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

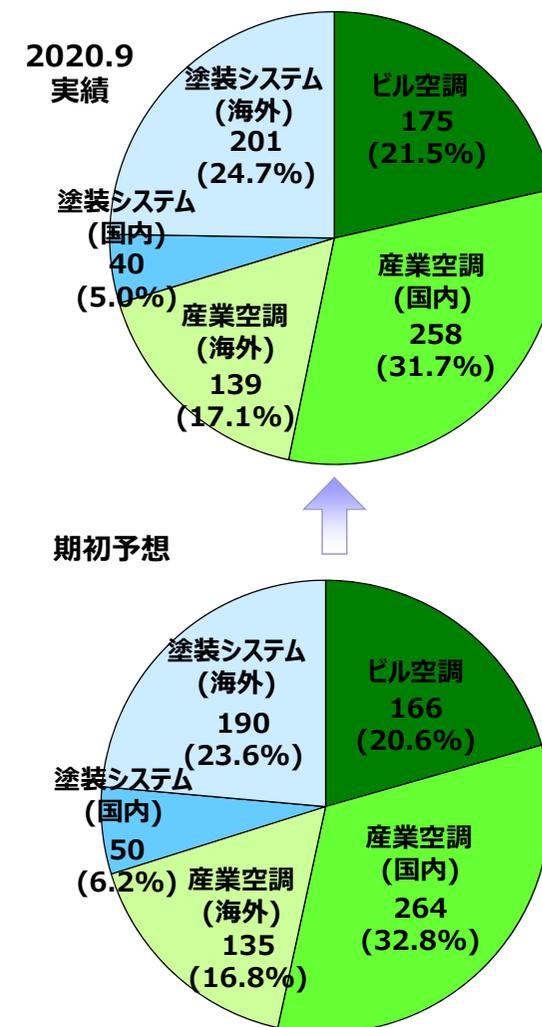
2-②.事業別完成工事高（予想比）

単位：億円

	予想	2020.9 実績	差異
完成工事高	805	815	10
（うち国内）	（480）	（474）	（△5）
（うち海外）	（325）	（341）	（16）
環境システム事業	565	573	8
ビル空調	166	175	9
産業空調	399	397	-1
（うち国内）	（264）	（258）	（△5）
（うち海外）	（135）	（139）	（4）
塗装システム事業	240	242	2
（うち国内）	（50）	（40）	（△9）
（うち海外）	（190）	（201）	（11）

両事業ともほぼ予想通りの結果となった。

事業別構成



1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

3-①. 事業別利益（前年同期比）

単位：億円

	2019.9	2020.9	増減
営業利益	75	31	-43
（同率）	7.2%	3.9%	-3.3%
環境システム事業	72	42	-29
（同率）	9.5%	7.4%	-2.1%
塗装システム事業	5	-10	-16
（同率）	1.9%	-4.5%	-6.3%
経常利益	76	37	-39
（同率）	7.3%	4.6%	-2.8%
環境システム事業	74	44	-30
（同率）	9.8%	7.8%	-2.0%
塗装システム事業	5	-10	-15
（同率）	1.8%	-4.4%	-6.2%

（環境システム事業）

- ・完成工事高が大幅に減少したことにより減益となった。

（塗装システム事業）

- ・景気悪化の影響に伴い、比較的収益性が高い地域における完工高が減少したことなどにより、経常赤字となった。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

3-②. 事業別利益（予想比）

単位：億円

	予想	2020.9 実績	差異
営業利益	31	31	0
(同率)	3.9%	3.9%	0.1%
環境システム事業	42	42	0
(同率)	7.4%	7.4%	△0.0%
塗装システム事業	-10	-10	△0
(同率)	-4.2%	-4.5%	-0.3%
経常利益	39	37	-1
(同率)	4.8%	4.6%	-0.3%
環境システム事業	44	44	0
(同率)	7.8%	7.8%	△0.0%
塗装システム事業	-8	-10	-2
(同率)	-3.3%	-4.4%	-1.0%

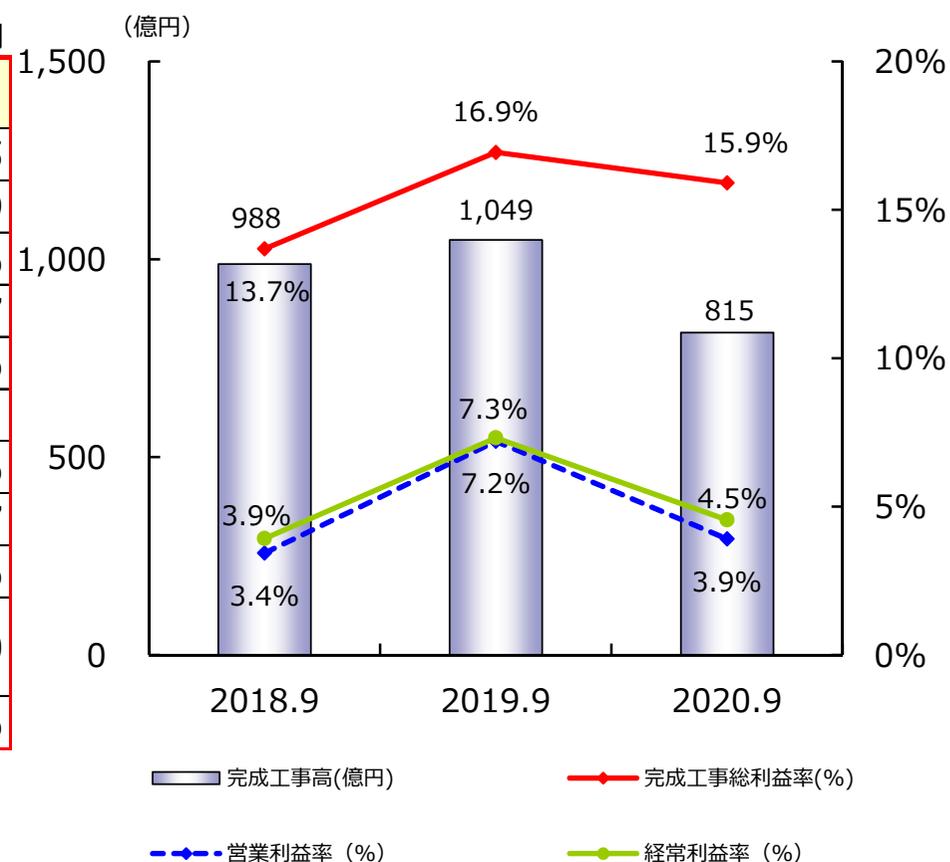
両事業ともほぼ予想通りの結果となった。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

4. 損益計算書

単位：億円

	2018.9	2019.9	2020.9
完成工事高	988	1,049	815
完成工事総利益	135	177	129
(同率)	13.7%	16.9%	15.9%
販管費	101	102	97
(同率)	10.3%	9.7%	12.0%
営業利益	33	75	31
(同率)	3.4%	7.2%	3.9%
経常利益	38	76	37
(同率)	3.9%	7.3%	4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	53	30
(同率)	0.9%	5.1%	3.8%



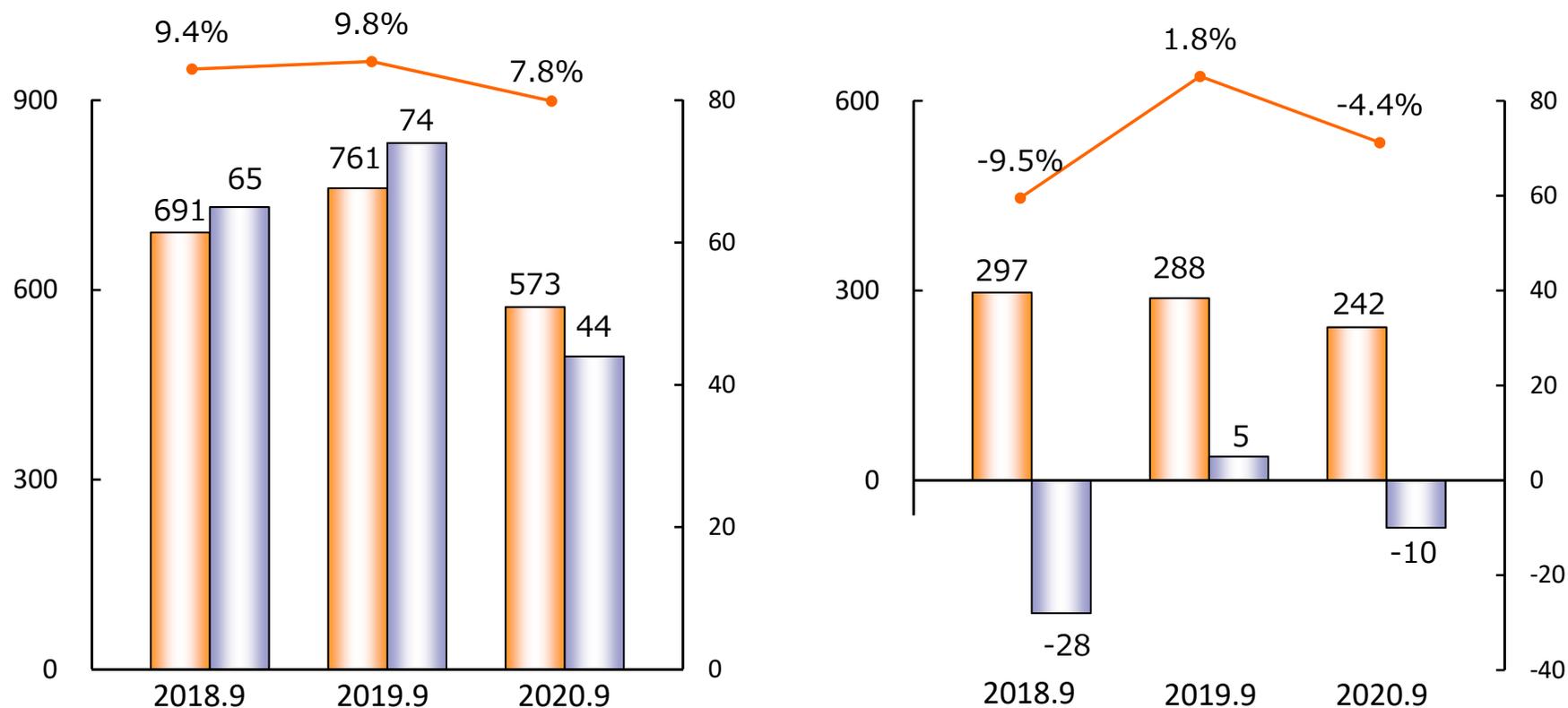
1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

5. 報告セグメントごとの完成工事高及び経常利益

環境システム事業

塗装システム事業

単位：億円

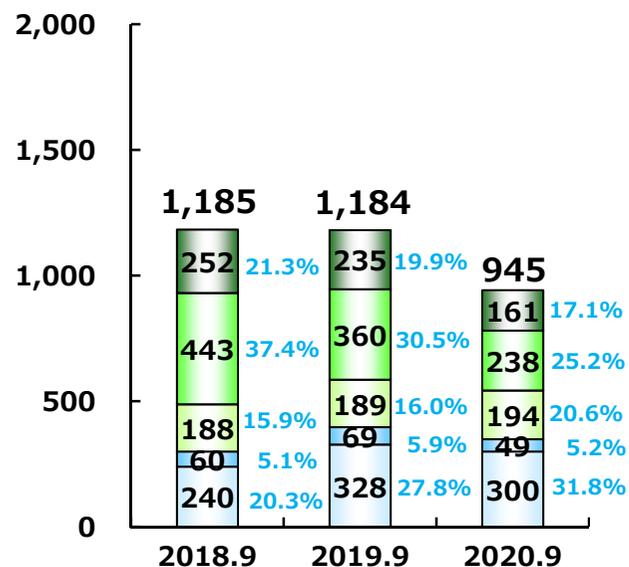


1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

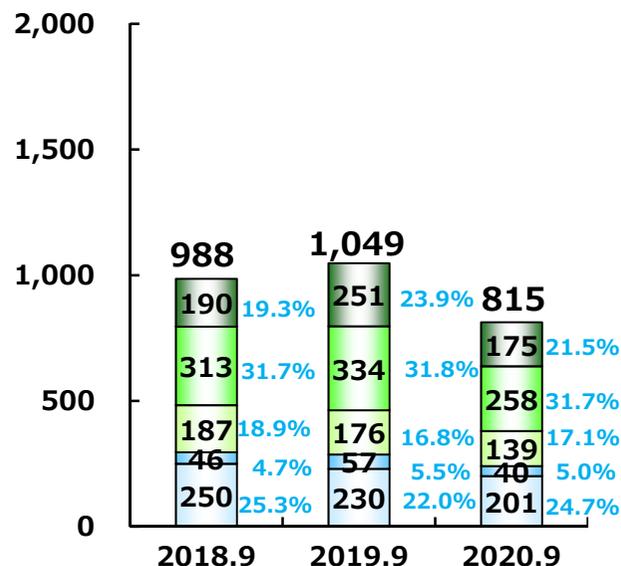
6. 受注工事高／完成工事高／繰越工事高

単位：億円

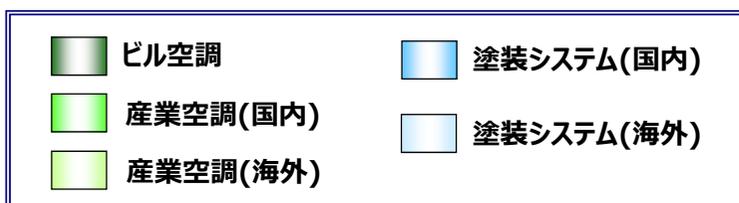
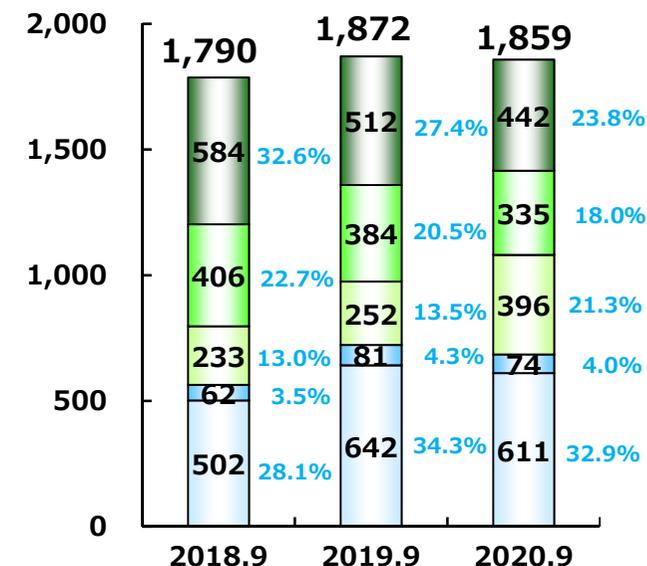
受注工事高



完成工事高



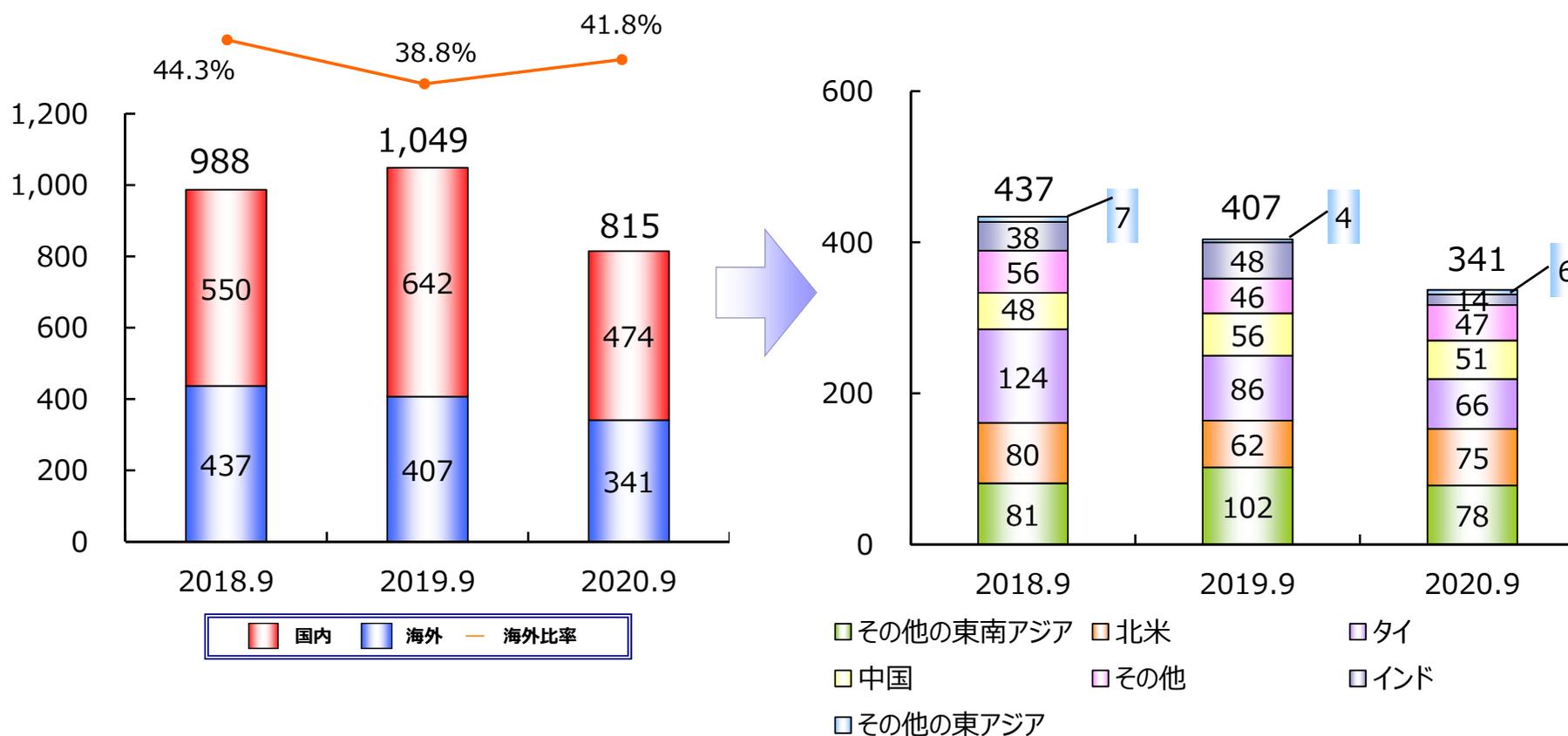
繰越工事高



1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

7. 海外完成工事高の推移(施工地別)

単位：億円



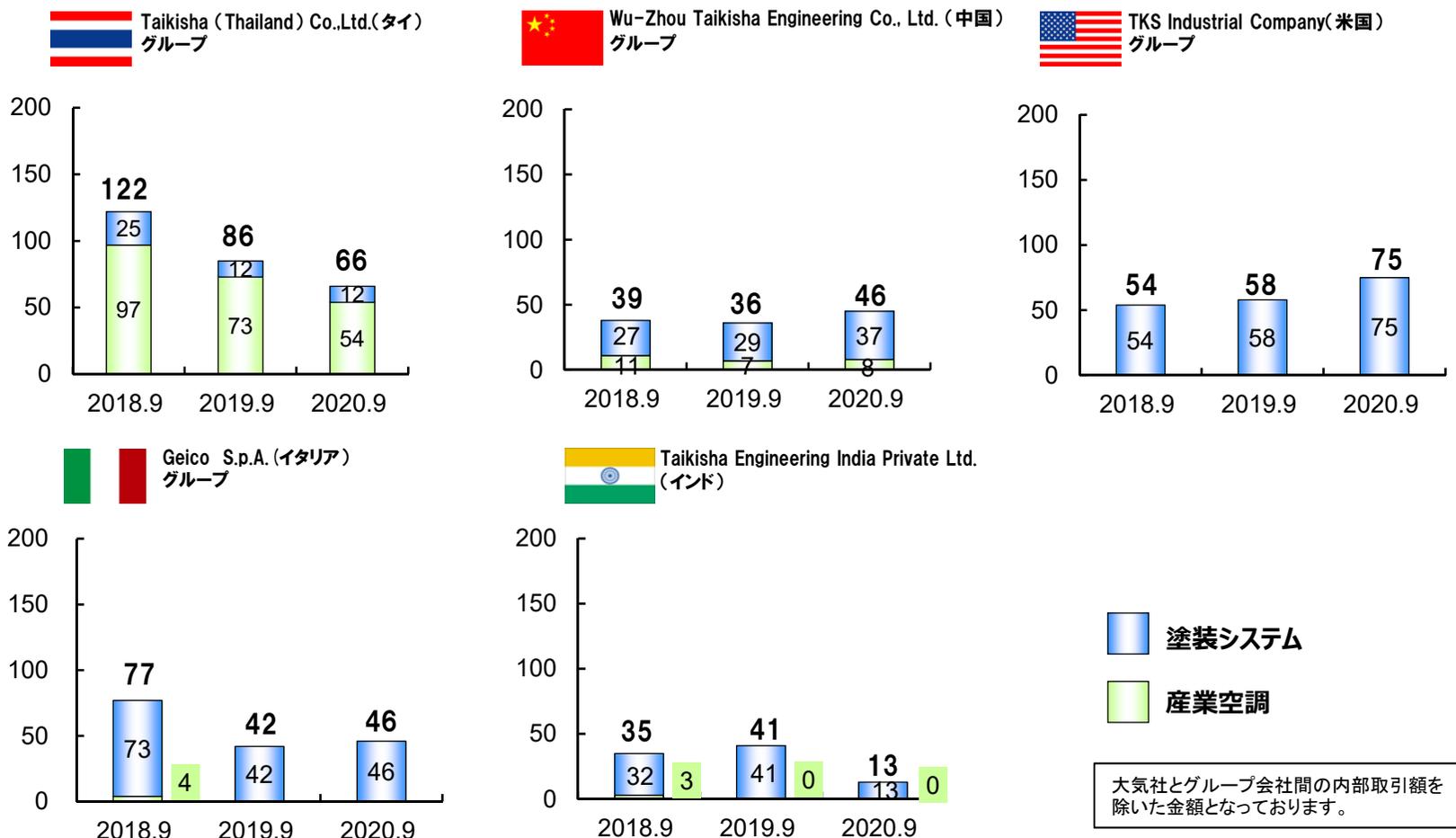
備考：当セグメントデータは、外部顧客への売上高のみの数値です。
 ●主な国または地域
 ・東南アジア - - シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、他
 ・東アジア - - - 台湾、韓国
 ・北米 - - アメリカ、カナダ、メキシコ
 ・その他地域 - - ロシア、南米、他

1

2021年3月期第2四半期決算ハイライト

8. 海外主要5社の完成工事高の推移

単位：億円



1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

9. 貸借対照表

単位：億円

科目	2020.3	2020.9	増減
流動資産	1,689	1,534	-155
現金預金	576	508	-67
受取手形・完成工事未収入金	967	831	-135
有価証券	35	10	-25
未成工事支出金及び 材料貯蔵品	34	41	6
その他	79	145	65
貸倒引当金	-3	-2	0
固定資産	464	543	79
有形固定資産	104	105	0
のれん	7	48	40
その他無形固定資産	28	32	3
投資有価証券	243	274	30
繰延税金資産	6	5	-0
その他	73	78	4
貸倒引当金	-0	-0	0
資産合計	2,153	2,077	-75

科目	2020.3	2020.9	増減
流動負債	939	818	-120
支払手形・工事未払金等	576	395	-180
未成工事受入金	143	177	33
工事損失引当金	2	1	-1
その他	216	244	27
固定負債	86	108	21
負債合計	1,025	926	-98
純資産	1,128	1,151	22
資本金	64	64	0
資本剰余金	50	50	0
利益剰余金	908	915	6
自己株式	-25	-25	-0
その他有価証券評価差額金	83	105	21
繰延ヘッジ損益	-0	-0	-0
為替換算調整勘定	3	-4	-8
退職給付に係る調整累計額	-3	0	3
非支配株主持分	46	45	-0
負債純資産合計	2,153	2,077	-75

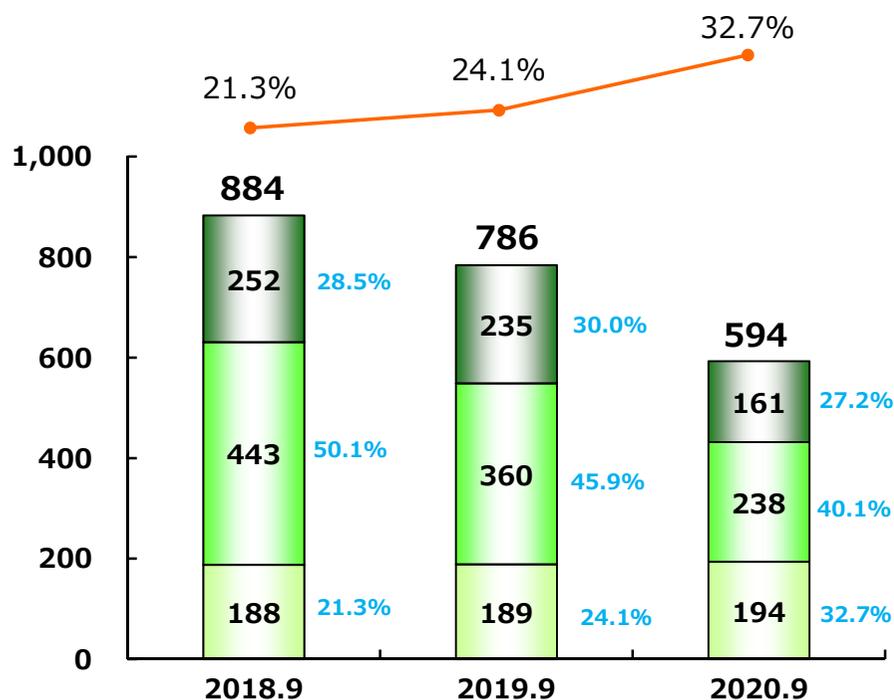
2020年7月30日にインドにおいてクリーンルーム向けパネルの製造・販売会社Nicomac社に出資し、子会社化した結果、のれんが前期末より40億円増加。

2 環境システム事業の業績

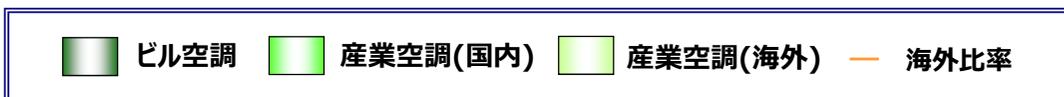
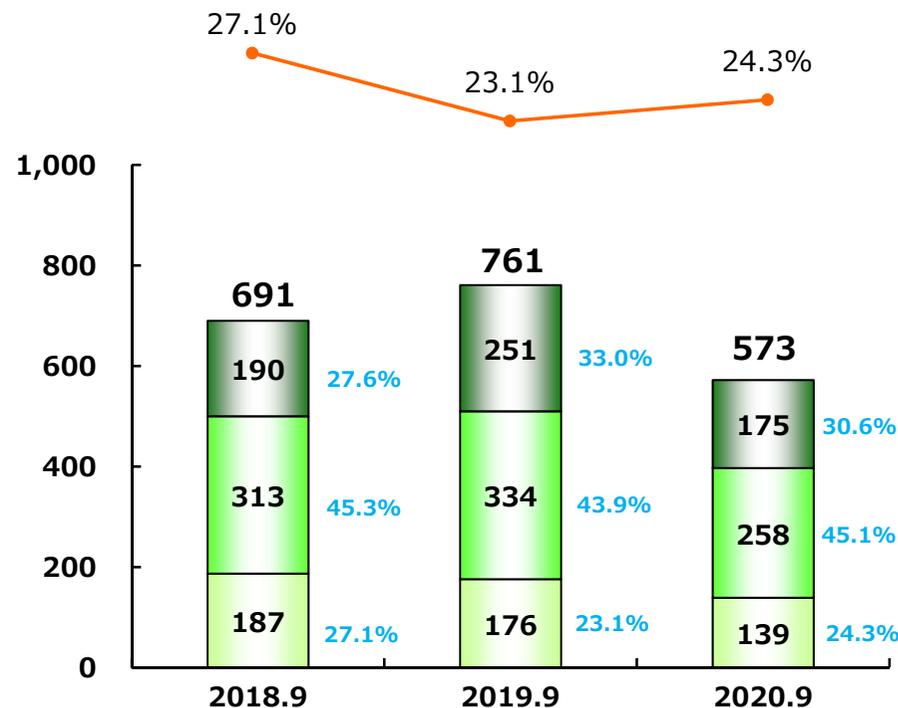
1. 受注工事高・完成工事高の推移

単位：億円

受注工事高



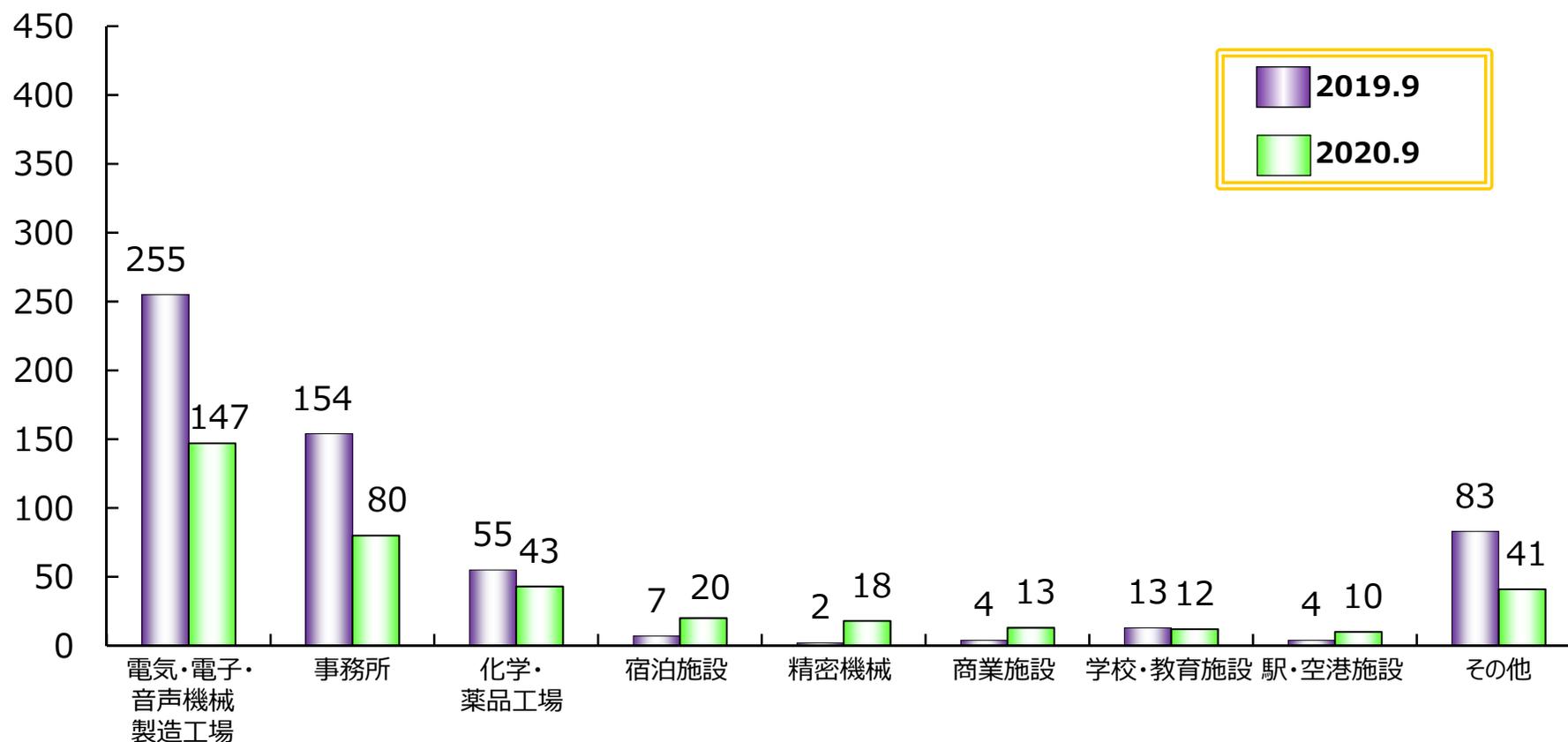
完成工事高



2 環境システム事業の業績

2. 市場種別受注状況(個別)

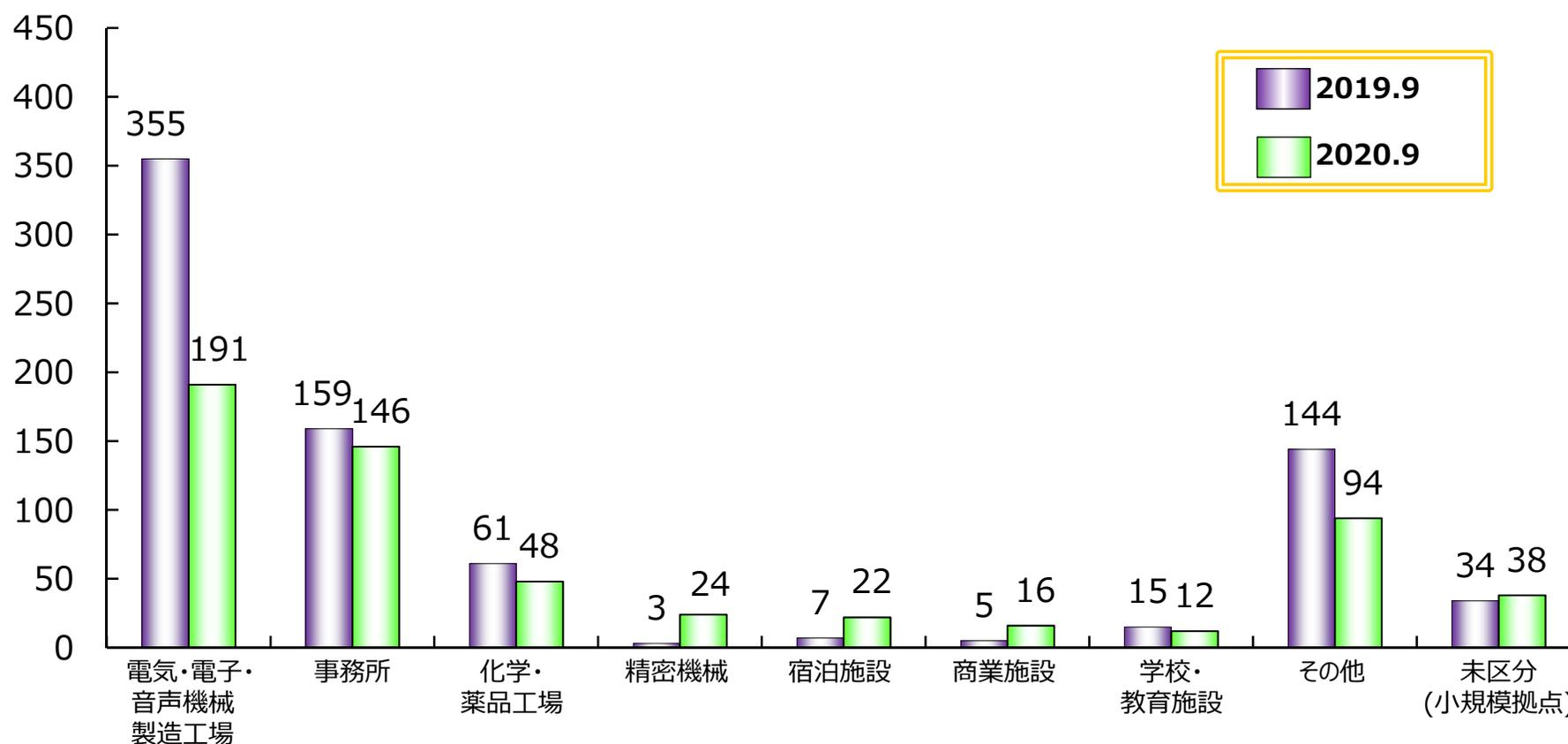
単位：億円



2 環境システム事業の業績

3. 市場種別受注状況(連結)

単位：億円



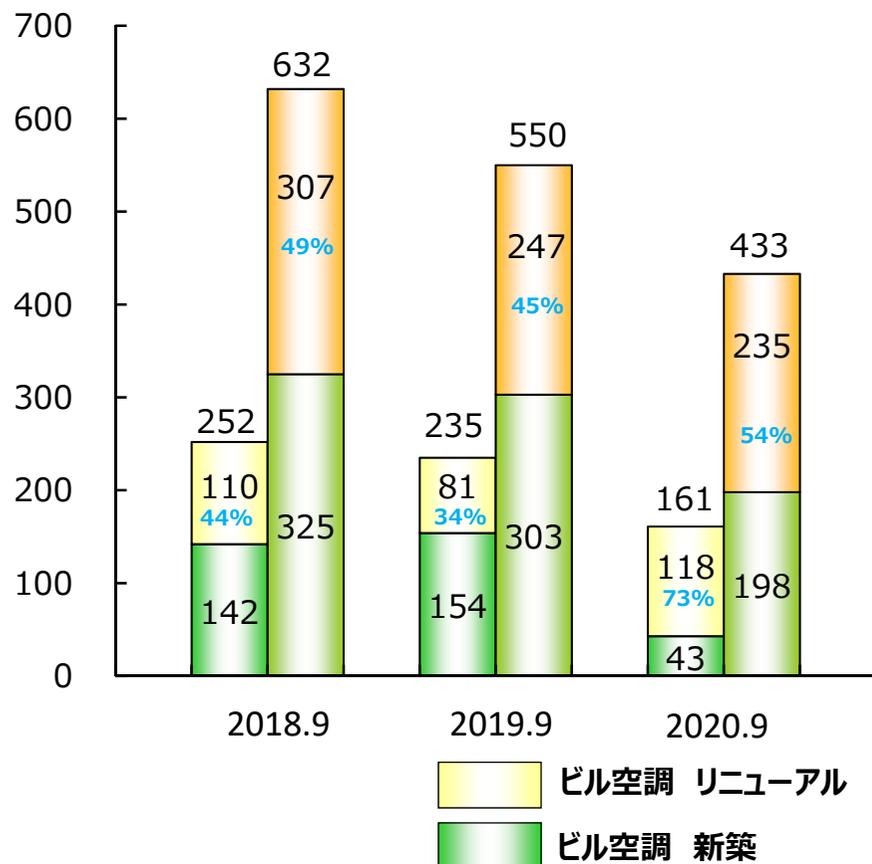
2 環境システム事業の業績

4. リニューアル工事の推移(連結)

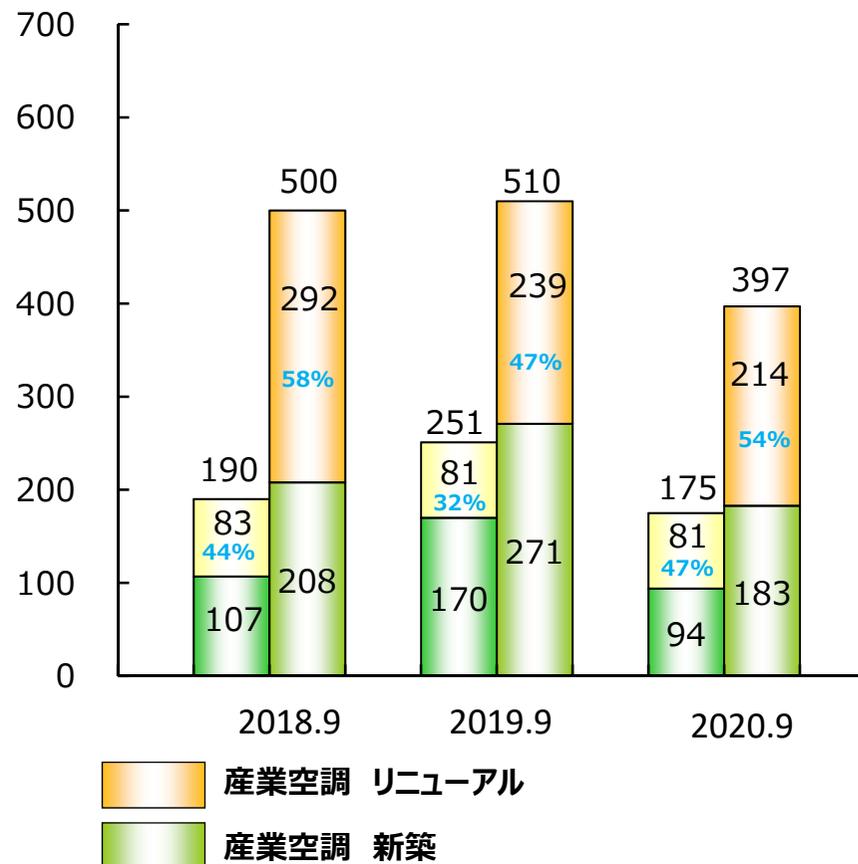
単位：億円

%：リニューアル比率

受注工事高



完成工事高

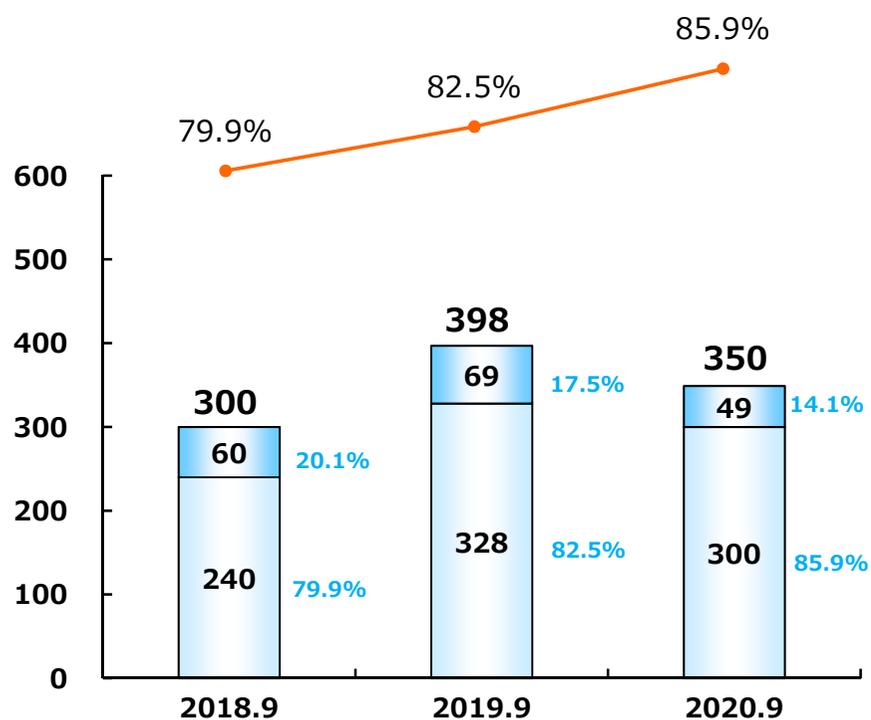


3 塗装システム事業の業績

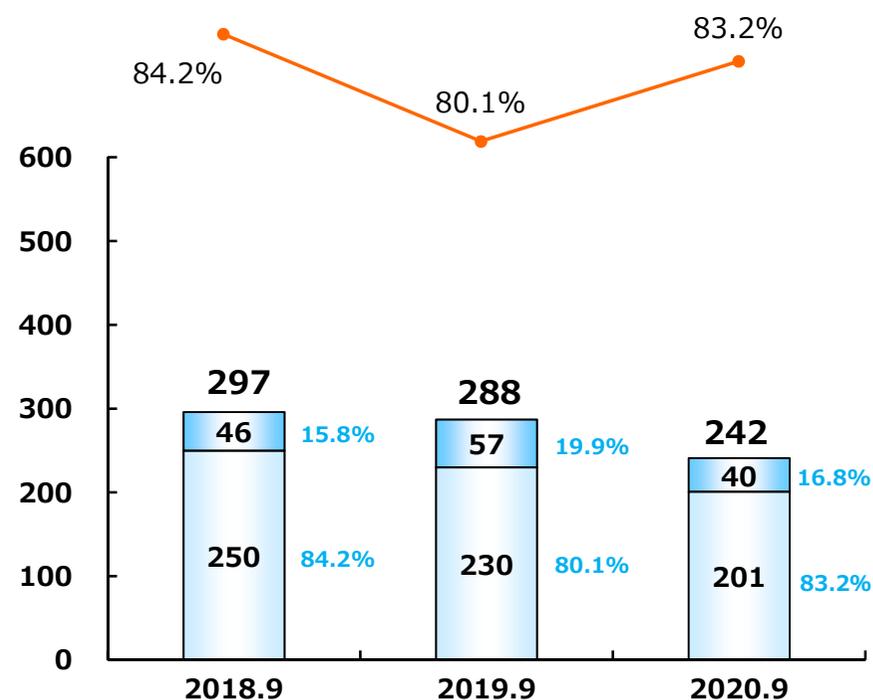
1. 受注工事高・完成工事高の推移

単位：億円

受注工事高

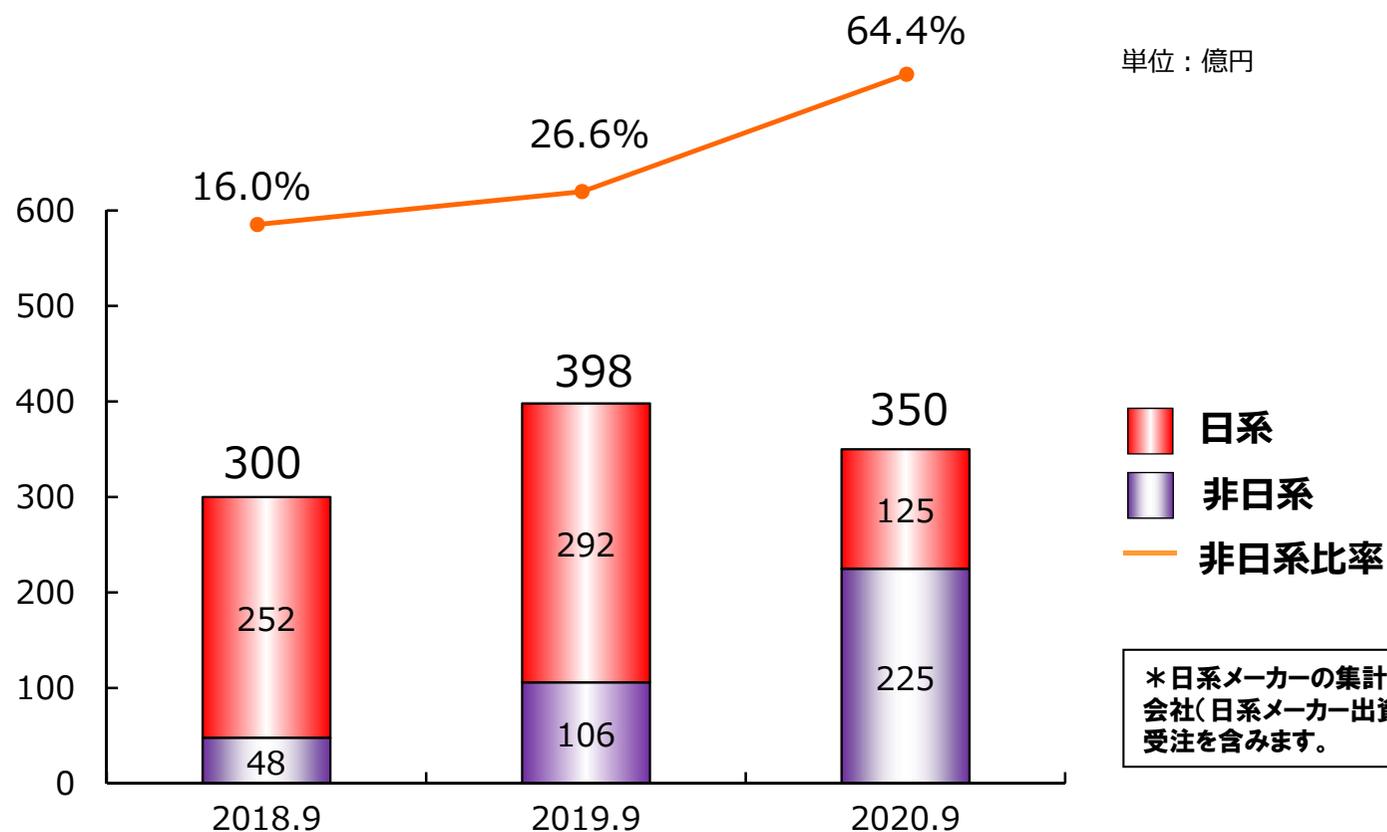


完成工事高



3 塗装システム事業の業績

2. 非日系メーカー受注工事高比率



4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

1. 5億円以上の受注工事 全23件 (445億円)

5億円以上の件数 (工事・市場種別)				
受注工事高 合計23件 (445億円)	国内 132億円	13件	事務所	1件
			学校・教育施設	1件
			商業施設	1件
			宿泊施設	1件
			駅・空港施設	1件
			電気・電子	4件
			精密機械・医療器具	1件
			鋳造・製鉄・非鉄金属	1件
			化学・薬品	1件
			自動車	1件
	海外 312億円	10件	事務所	1件
			電気・電子	1件
			その他工場	1件
			自動車	4件
		トラック	1件	
		鉄道	1件	
		二輪車	1件	

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

2. 5億円以上の**完成工事** 全27件（285億円）

5億円以上の件数（工事・市場種別）				
完成工事高 合計27件 (285億円)	国内 144億円	16件	事務所	4件
			学校・教育施設	1件
			宿泊施設	1件
			電気・電子	6件
			化学・薬品	3件
			輸送機械	1件
	海外 141億円	11件	事務所	1件
			商業施設	1件
			自動車	9件

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

3. 10億円以上の繰越工事 全39件（1,066億円）

10億円以上の件数（工事・市場種別）				繰越工事	内 2020年度 完成予定
繰越工事高 合計39件 (1,066億円)	国内 367億円	16件	事務所	7件	
			行政施設	1件	
			宿泊施設	1件	
			医療・福祉施設	1件	
			電気・電子	2件	1件
			化学・薬品	2件	
			技術研究施設	1件	
			建設機械	1件	
	海外 698億円	23件	事務所	2件	
			駅・空港施設	2件	
			電気・電子	2件	
			化学・薬品	1件	
			その他工場	1件	
			自動車	12件	3件
			トラック	1件	
			鉄道	1件	
			二輪車	1件	

5 2021年3月期業績予想

事業別予想値

単位：億円

	2020.3									2021.3								
	環境システム			塗装システム			全社			環境システム			塗装システム			全社		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期(E)	通期(E)	上期	下期(E)	通期(E)	上期	下期(E)	通期(E)
受注工事高	786	819	1,605	398	265	663	1,184	1,084	2,269	594	705	1,300	350	369	720	945	1,074	2,020
完成工事高	761	812	1,573	288	391	680	1,049	1,204	2,253	573	726	1,300	242	487	730	815	1,214	2,030
営業利益	72	63	135	5	22	27	75	78	154	42	63	106	-10	22	12	31	78	110
経常利益	74	64	138	5	22	28	76	83	159	44	63	108	-10	23	13	37	82	120
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	53	37	91	-	-	-	-	-	-	30	49	80

- ① 2020年3月期上期決算為替レート：1USD=110.11円、1ユーロ=124.47円、1タイバツ=3.48円
- ② 2021年3月期上期決算為替レート：1USD=108.44円、1ユーロ=119.85円、1タイバツ=3.44円
- ③ 2021年3月期想定為替レート：1USD=106.00円、1ユーロ=117.00円、1タイバツ=3.49円

※2021年3月期業績予想において、全為替レートが1%変動した場合の影響額
 ⇒受注・完工：約10億円、経常利益：約0.3億円

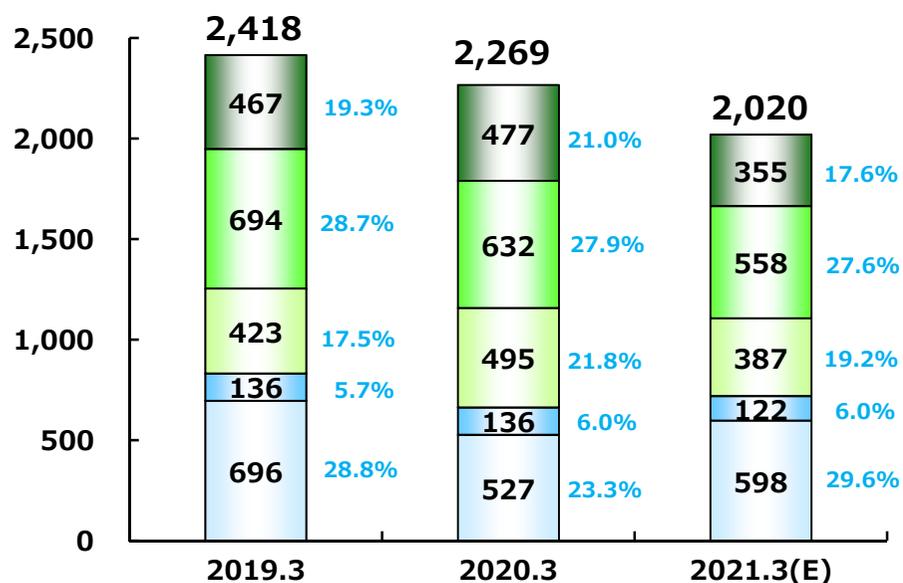
- ①と②の為替差による影響 完成工事高：△9.3億円、経常利益：+0.3億円
- ②と③の為替差による影響 完成工事高：+4.6億円、経常利益：+0.1億円

5 2021年3月期業績予想

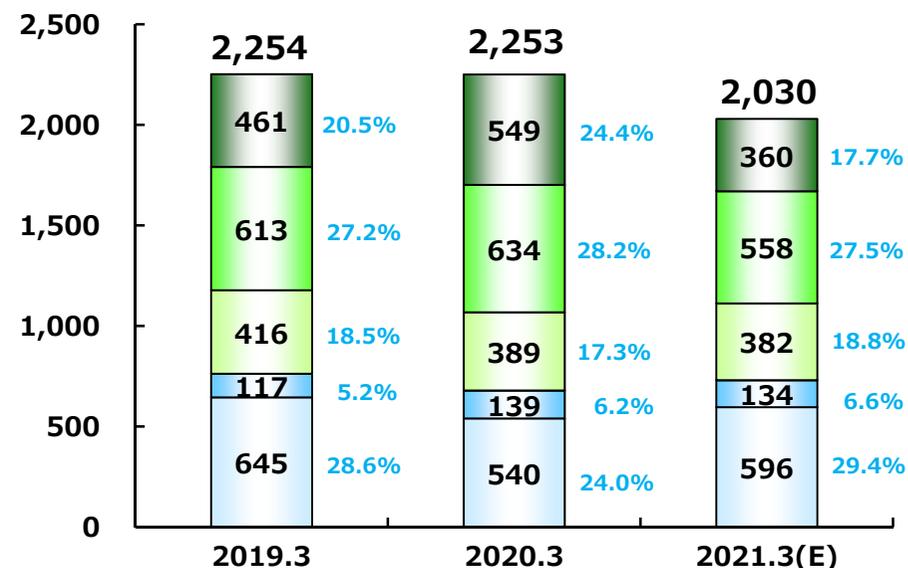
事業別予想値

単位：億円

受注工事高



完成工事高

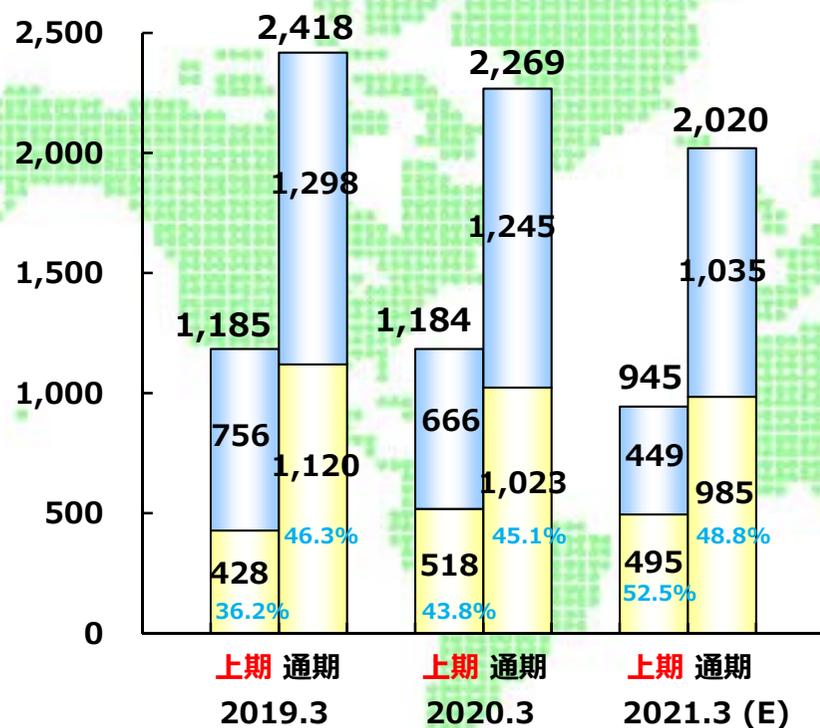


5 2021年3月期業績予想

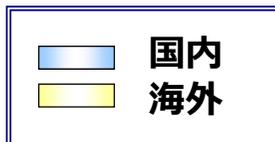
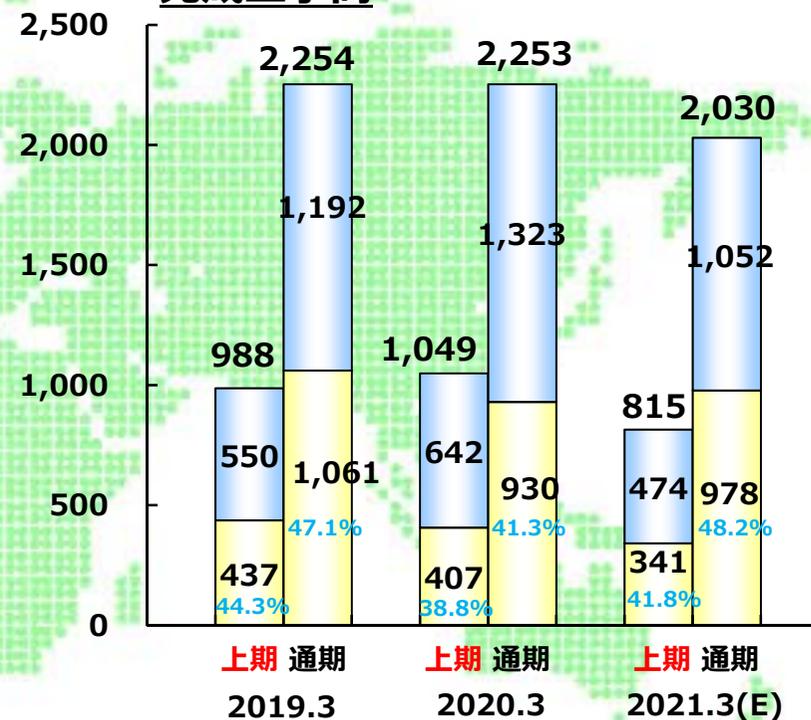
全社（国内／海外別）

(単位:億円)
(%:海外比率)

受注工事高



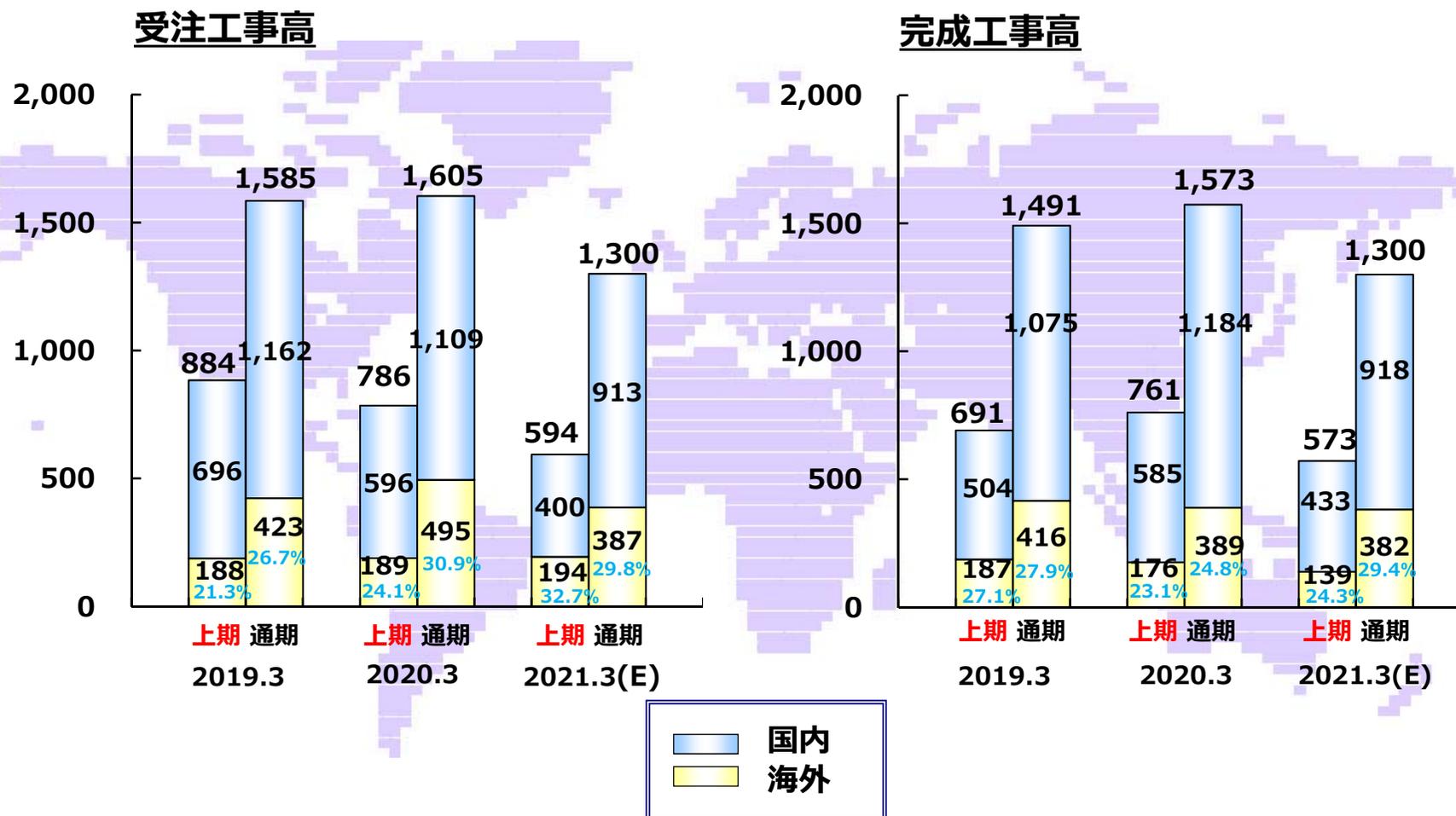
完成工事高



5 2021年3月期業績予想

環境システム事業（国内／海外別）

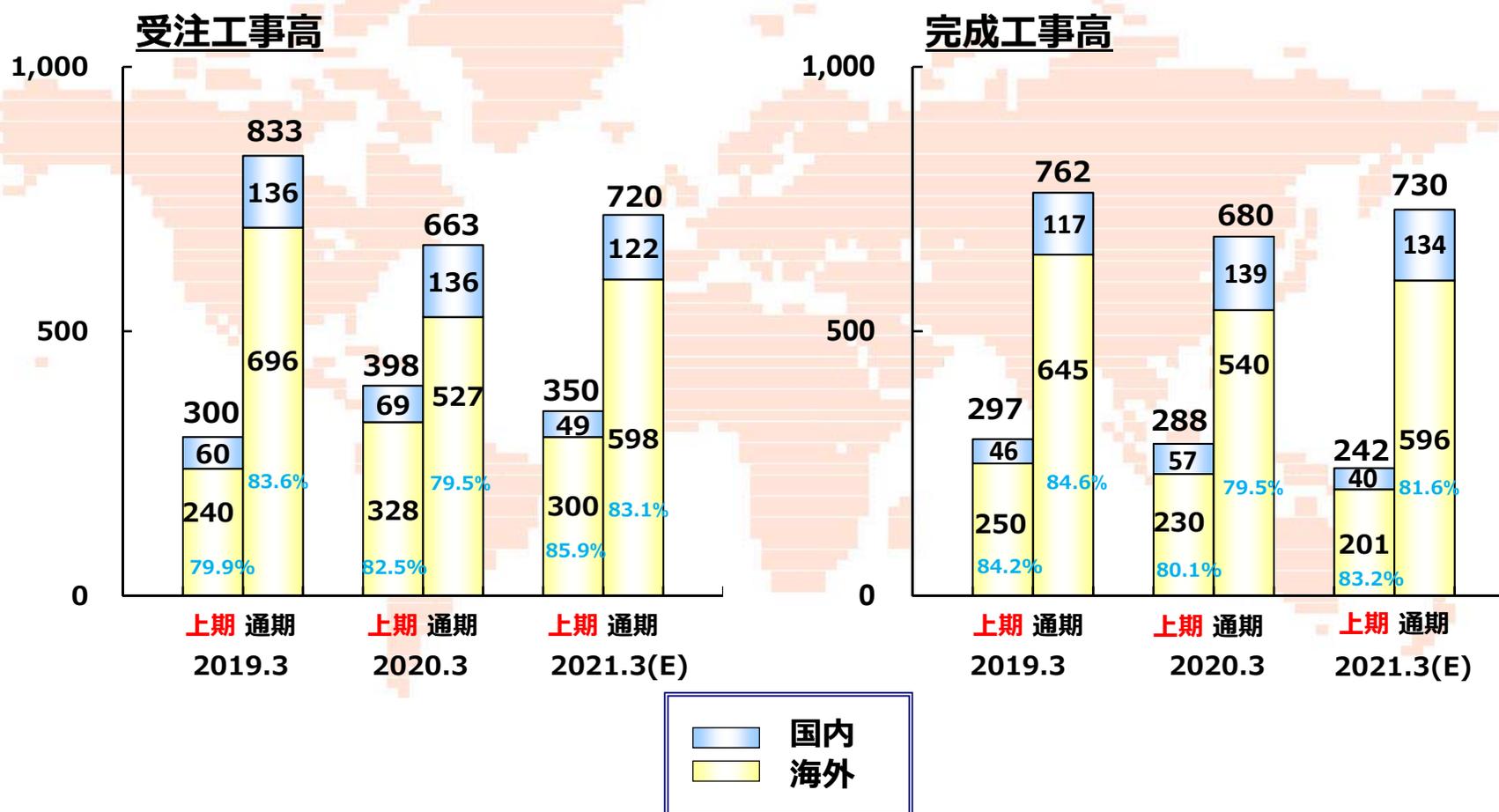
(単位:億円)
(%:海外比率)



5 2021年3月期業績予想

塗装システム事業（国内／海外別）

(単位:億円)
(%:海外比率)



6
株主還元
自己株式の取得・消却
取得実績

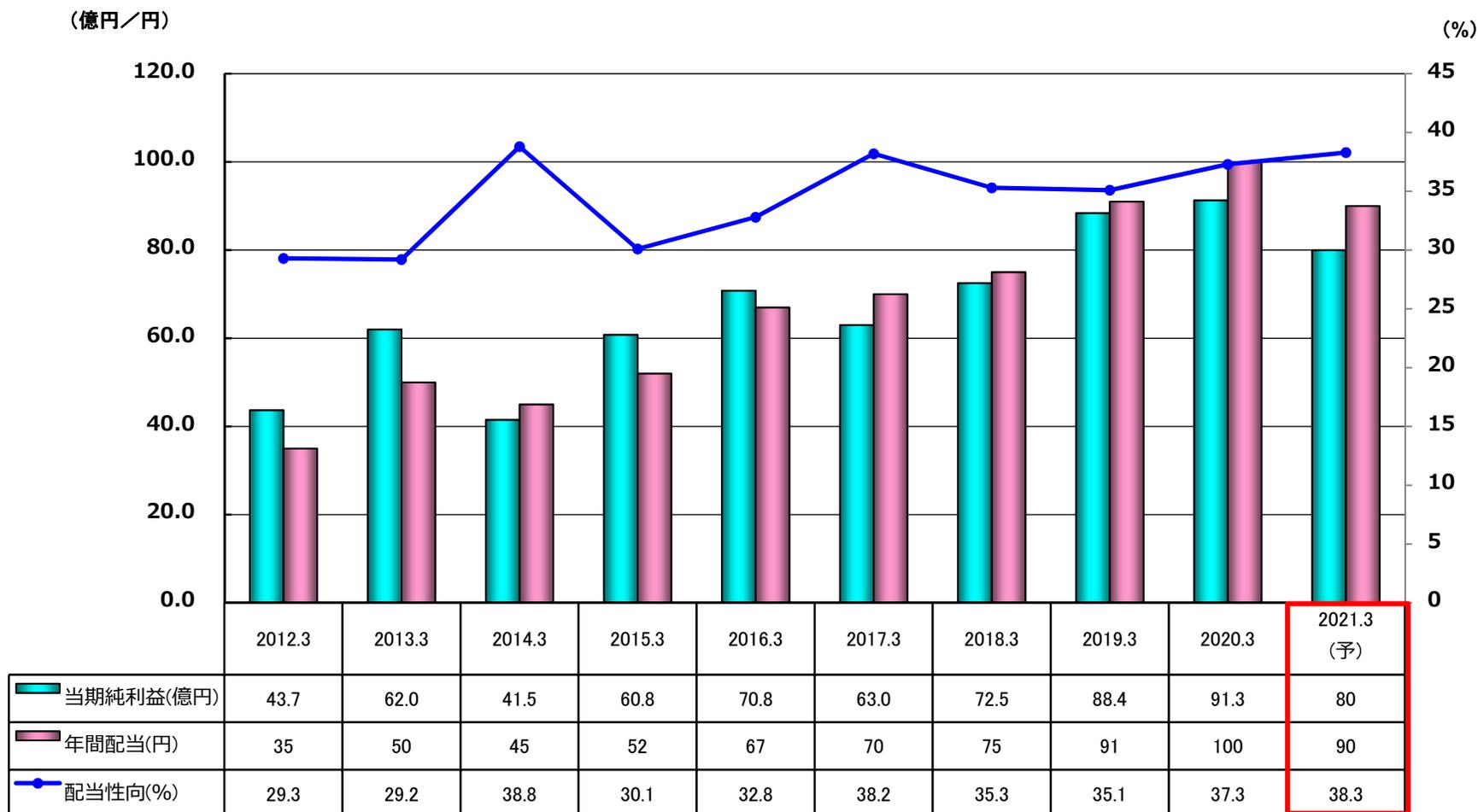
実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2005年12月	40	1,933	77
2006年 2月	597	1,780	1,062
2006年7,8月	500	1,401	700
2011年 8月	300	1,576	472
2012年11月	600	1,614	968
2013年12月	800	2,170	1,736
2015年 5月	680	3,245	2,206
2016年11月	356	2,805	999
2017年11,12月	136	3,654	499

消却実績

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2008年 8月	1,200	1,593	1,912
2018年 2月	1,700	2,443	4,154

処分実績 (ESOPにて)

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2013年 2月	180	1,860	334

6
株主還元
当期純利益と配当の推移


連結配当性向35%を目標とし、安定的な配当を実施していくことを基本方針とする。
2021年3月期の1株当たり年間配当予想金額は90円。(配当性向38.3%)

2. 中期経営計画（2019年度～21年度）の 各戦略における取り組み

長期ビジョン／数値目標／投資テーマ

**「特色あるエンジニアリングを通じ、
最適な環境を創造するグローバルな企業グループを目指す」**

技術

エネルギー・空気・水に関わる技術で、
お客様の多様なニーズを満たすエンジニアリング集団を目指す。

環境

先進的なソリューション技術でお客様の環境課題を解決し、
豊かな地球環境を未来へ引き継ぐことに貢献する。

人材

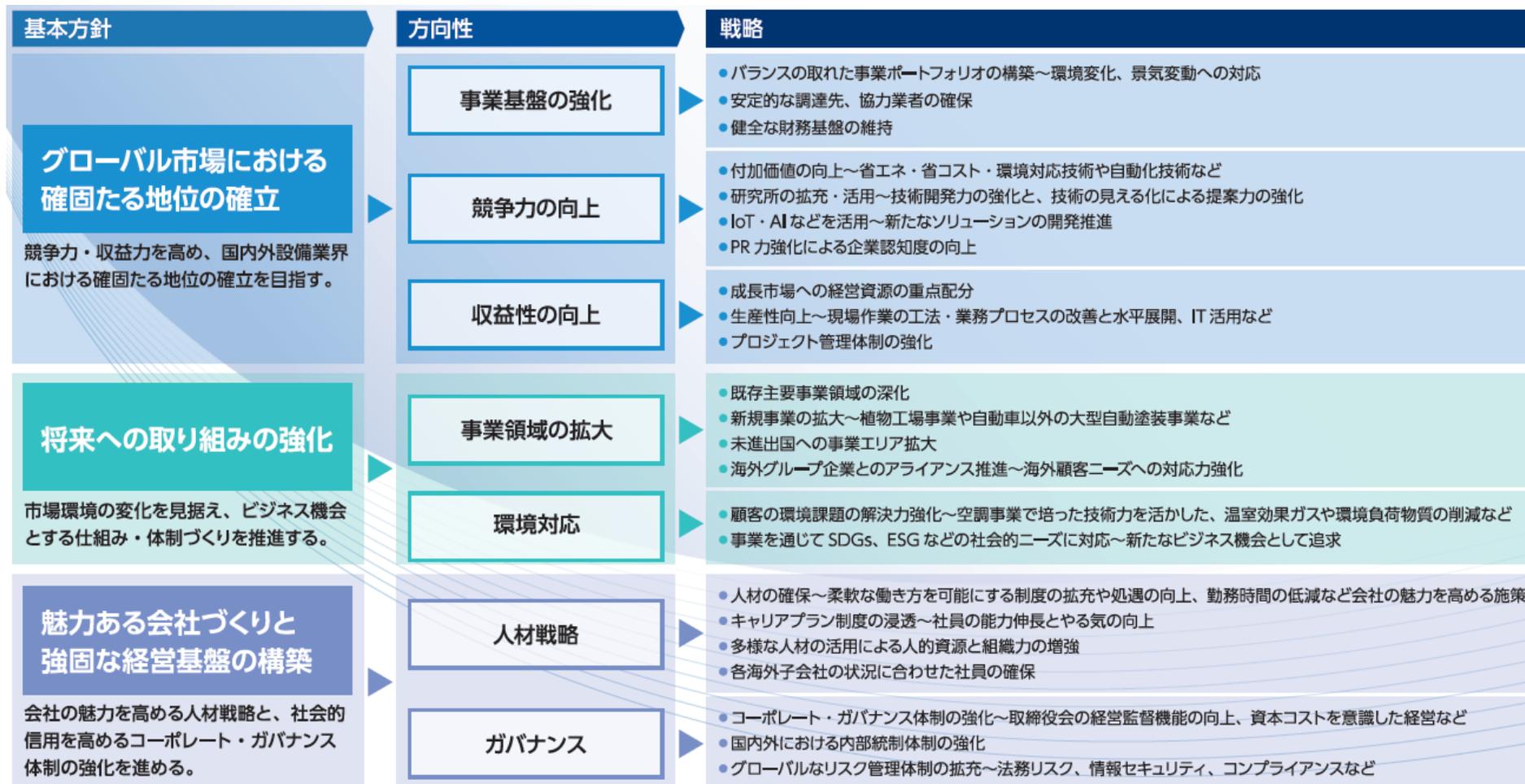
個人の創造性・多様性を尊重し、社員が自己の成長と働く喜びを感じることができる
風土を大切にする。

2022年3月期 数値目標

受注工事高	2,650 億円
完成工事高	2,600 億円
経常利益	160 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円
自己資本利益率 (ROE)	8 %以上
投資計画	200 億円

投資テーマ	投資金額 (計画)
技術開発力・提案力の強化／新規事業への取り組み推進 (研究開発施設の拡充など)	200億円
生産性の向上(ITの活用など)・人材開発	
M&Aなど資本投資	

基本方針と方向性・戦略



各戦略における取り組み ～今期の実績①～

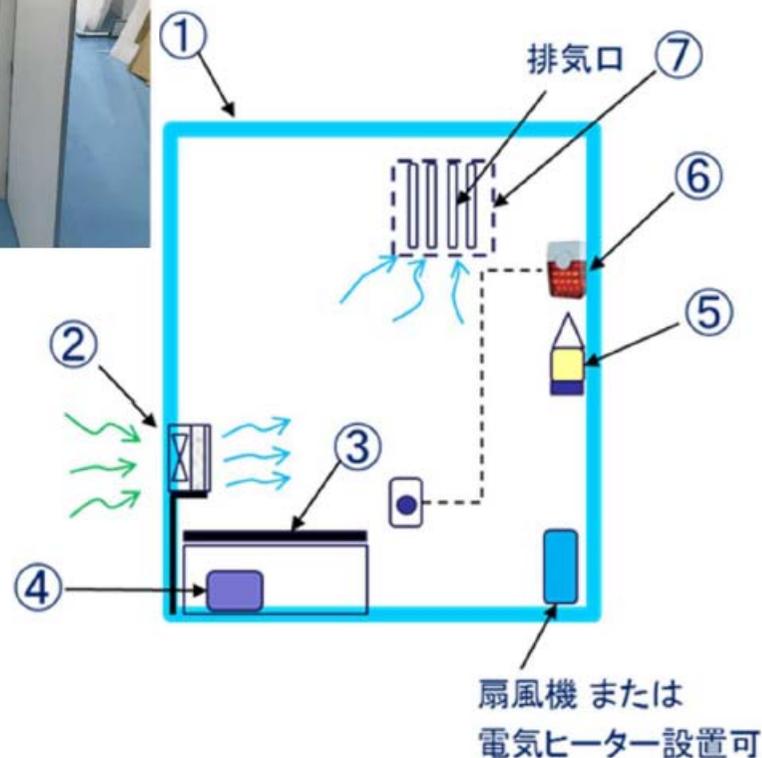
戦略：事業を通じた社会的ニーズへの対応①



外観

・1700mmW
x 2100mmL
x 1910mmH

避難所用シェルター 「バリアーキューブ」



①組立式シェルター

プラダン製(プラスチック段ボール)

- ・何度も使える
- ・表面に除菌スプレー等可能
- ・採光性があり閉塞感を感じにくい

②HEPAフィルターで濾過した空気を送り換気(給気ファン付)

・室内をプラス圧化(外気の侵入を防ぐ)

③ポータブルベット(折畳式)

④充電式バッテリー

⑤LED照明(取外し携帯可)

⑥非常時点滅ライト・アラーム (リモートスイッチ付)

⑦排気フィルター

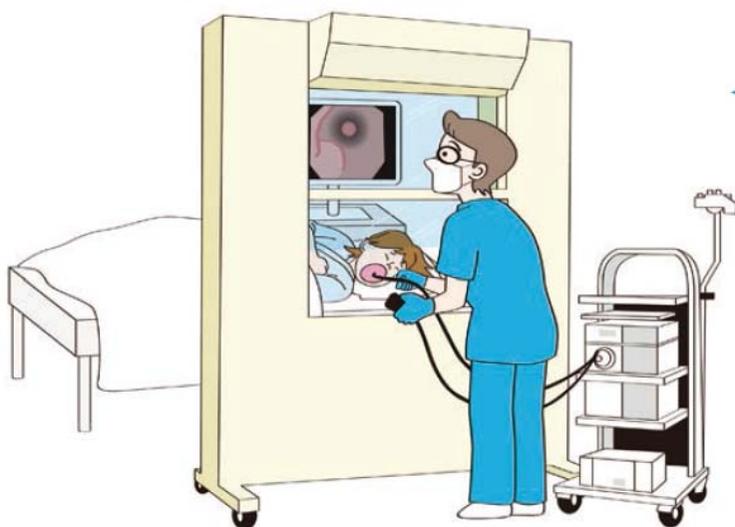
各戦略における取り組み ～今期の実績②～

戦略：事業を通じた社会的ニーズへの対応②

移動式高性能エアバリアユニット
HEPAフィルター付きパーテーション

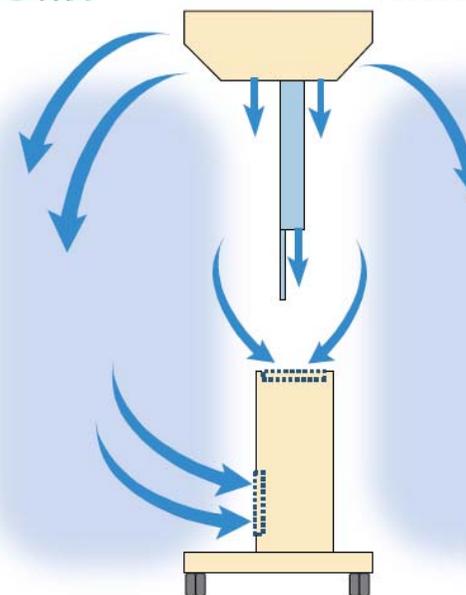
Air Infection Block Plus

使用例



- 医療従事者と患者が対面となる診察時
- PCR検査などの検体採取時
- 患者がマスクを装着できない内視鏡検査など

患者側 気流イメージ 医療従事者側



各戦略における取り組み ～今期の実績③～

戦略：資本提携による海外事業領域の拡大

2020年7月末にインドにおいてクリーンルーム向けパネルの製造・販売会社 Nicomac Clean Rooms Far East LLP(以下「Nicomac社」)に資本参加いたしました。

Nicomac社はインド製薬メーカーを主要な顧客として、高品質なパネルを製造・販売しております。

今回の資本参加を機に、中長期的に経済成長が見込まれるインド市場において、高性能の空調設備を必要とする医薬品製造環境を中心に、同社のパネル製造、据付技術と当社の空調設備技術の融合により、同国のクリーンルーム建設市場への対応力強化をめざします。



各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み①～

戦略	進行中の主な取り組み
<p>付加価値の向上 ～省エネ・省コスト・ 環境対応技術や自動化技術など</p>	<p>高塗着効率塗装システムの開発・商品化</p> <p>CO₂削減につながる、高塗着効率塗装システムの開発・商品化を推進中。</p>
<p>研究所の拡充・活用 ～技術開発力の強化と技術の見 える化による提案力の強化</p>	<p>技術開発センター（愛川）の実証センター化</p> <p>環境システム事業関連技術の顧客への提案を行う見学施設として再構築を検討中。</p>
<p>IoT・AIなどを活用 ～新たなソリューションの開発推進</p>	<p>予兆保全と品質解析システムの開発・事業化</p> <p>IoT・AI を活用して稼働停止や品質不良発生時の要因解析を行うシステム「i-Navistar」の導入拡大に向け営業活動推進中。</p>

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み②～

戦略	進行中の主な取り組み
生産性向上	図面作画・積算業務の自動化システムの開発 図面の自動作画や自動積算のシステムを開発中。
新規事業の拡大 ～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など	植物工場自社工場建設 植物工場の量産・自動化技術の確立と実証、そして顧客への提案を行う施設の設立を検討中。 航空機・鉄道車両向け自動研磨装置の開発・事業化 初プロジェクトの受注に向けた営業・技術実証活動を推進中。
未進出国への事業エリア拡大	未進出国への拠点設立の検討 今後の投資が期待できる地域への新規拠点設立を検討中。

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み③～

戦略	進行中の主な取り組み
<p>人材の確保 ～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策</p>	<p>テレワーク制度拡充等ポストコロナ禍に向けた取り組み</p> <p>当社に適するテレワーク制度の拡充など、ポストコロナ禍を見据えた社員の働き方の改善と業務の効率化に向けた対応を検討中。</p> <p>同一労働同一賃金を求める法改正への対応</p> <p>改正法の主旨に基づき、非正規社員と正規社員間の処遇差異の見直しを実施。引き続き、処遇改善に向けた取り組みを継続中。</p>
<p>多様な人材の活用による人的資源と組織力の増強</p>	<p>多様な人材の採用と活用</p> <p>女性活躍を推進すべく、ライフイベントに応じた柔軟な休暇・休職の取得や復職後の職務訓練指導を実施。また、政府が推進する70歳雇用への対応について検討中。</p>

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み④～

戦略	進行中の主な取り組み
<p>コーポレート・ガバナンス体制の強化 ～取締役会の経営監督機能の向上、資本コストを意識した経営など</p>	<p>資本コストや資本・配当政策に関する検討の深化</p> <p>企業価値向上を目指し、資本コストを意識した経営や資本・配当政策に関する検討を推進中。</p>
<p>国内外における内部統制体制の強化</p>	<p>ITに関わる内部統制体制の強化</p> <p>グループ全体のITを健全に維持・監督する内部統制体制の強化に向けた対応を検討中。</p>
<p>グローバルなリスク管理体制の拡充 ～法務リスク、情報セキュリティ、コンプライアンスなど</p>	<p>グローバルな情報セキュリティ対策の強化</p> <p>海外子会社における情報セキュリティ対策の強化を検討中。</p>

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 管理本部 企画・広報課

TEL : 03-5338-5052 FAX : 03-5338-5195